

29.大室山（神奈川県西部 標高 1588m）

県西部を集水域とする酒匂川(中流域では河内川と呼ばれる)は、その源を丹沢湖に発します。ここより上流部は、西から世附川(よづくがわ)、北に中川川(ながわがわ)、そして東方に玄倉川(くろくらがわ)と更に長大な支流が連なり、その源流はいずれも丹沢山塊の急峻な稜線に突きあげています。つまり、丹沢湖の完成(昭和45年)により湖底に沈んだ当時の集落「落合」の地名は、これら三川が合流する地理的拠点を意味していたわけです。

大室山はこの中川川の最奥部に位置し、その北側は山伏峠に発する道志川の右岸に接しています。道志村から見上げる大室山は実に1000mを越す標高差があり、大変登高欲をそそられる山です。

また八王子の方角からの富士山の眺望はこの山に遮られ、別名「富士隠し」とも呼ばれています。いずれれもその膨大な山容のなせるわざですが、この意味では昭和30年代後半まで使われていた「大群山(おおむるやま)」の字体をなつかしく思います。

神奈川県側から大室山を目指すには二つの登路があります。小田急線新松田駅から富士急行バスを利用して終点、西丹沢自然教室で下車。ここから、大室山を挟む2つの峠、犬越路(いぬこえじ、1169m)あるいは白石峠(1307m)のいずれかを起点として、周回コースをとることになります。

なお、犬越路の異名は昔、武田信玄の軍勢が相州小田原攻めを行った際、犬を先頭にこの峠を越えた故事によります。

通常、用木(ようき)沢沿いに犬越路に登り、さらに大室山、加入道山(1418m)、白石峠および白石沢を経て下山する東回りのルートが一般的でしょう。

数年前、犬越路から大室山に至る急登の南東斜面で、クロジの繁殖が確認されました。これは県内、初の記録です(鈴木茂也・現日本野鳥の会神奈川支部・副支部長らによる)。このあたりでは、毎年6月頃を中心に、クロジのさえずりを聞くことができます。

犬越路と加入道山には避難小屋(無人)



大室山を目指し

コースタイム

西丹沢自然教室 9:00~犬越路 11:35~大室山 13:40~加入道山 14:48~白石峠 15:05~西丹沢自然教室 17:00

地形図: 1:25,000 中川、大室山 案内図: 丹沢(昭文社)

季節

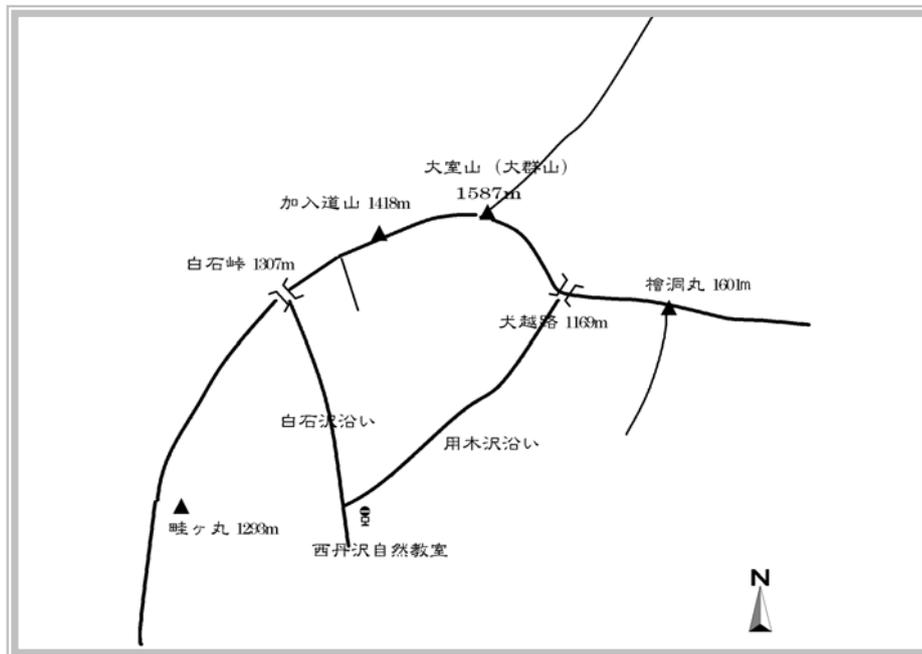
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

29.大室山（神奈川県西部 標高 1588m）

があり、いずれも緊急時の利用が可能です。一方、増水時には、犬越路までの用木（ようき）沢経路に4箇所、また白石沢には1箇所、それぞれ徒渉となる箇所があります。増水時の白石沢の徒渉はほとんど不可能であり、また用木沢の増水時も膝まで達する強い水勢の中の徒渉を強いられま

す。これら徒渉個所の通過の可否については、ぜひ山慣れたリーダーの的確な判断と指示に従ってください。

なお、白石沢の源流部には大理石からなる「白石の大滝」があり、一見の価値があります。西丹沢自然教室発（新松田行き）最終バスの時刻は現在、17時15分です。
（畑 俊一）



観察できた鳥

1998.6.12 の記録

キセキレイ・センダイムシクイ・ミソサザイ・コルリ・オオルリ・ヤブサメ・アオゲラ・イカル・トラツグミ・ヒヨドリ・ウグイス・ツツドリ・ホトトギス・ルリビタキ・クロツグミ・クロジ（さえずり・計4個体）・ヒガラ・エゾムシクイ・コマドリ・コガラ・ジウイチ・アカハラ・マミジロ・カケス・ハクセキレイ

1999.7.4 の記録

ヤマセミ・オオルリ・ホオジロ・イワツバメ・ヒヨドリ・トラツグミ・コゲラ・センダイムシクイ・ミソサザイ・クロジ（さえずり・計4個体）・コルリ・コマドリ・ジウイチ・ヒガラ

1999.9.26 の記録

アカゲラ・カケス・ヒガラ・ソウシチョウ・ヒヨドリ・シジウカラ・メボソムシクイ・コゲラ・コガラ・ゴジウカラ・カワガラス

2000.2.11 の記録（積雪期）

カワガラス・カケス・ルリビタキ・コゲラ・ヤマドリ♂・コガラ・メジロ・ミソサザイ・アオゲラ・ゴジウカラ・ウソ・ヤマガラ

あし

- ・小田急線新松田駅／JR御殿場線松田駅下車 富士急行バス 西丹沢行き 終点下車
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照